

あげお 議会だより



新春の調べにうっとり (市三曲連盟 市役所市民ホール)

平成15年12月定例会日程

- 12月15日……開会、議案の上程
提出議案の説明、
議案に対する質疑
委員会付託
- 12月16日……総務、建設水道常任委員会
- 12月17日……文教経済、福祉消防常任委員会
- 12月18日……一般質問
- 12月19日……一般質問
- 12月22日……一般質問
- 12月25日……委員長報告、討論、採決、
議員提出議案の上程、採決、
閉会

●主な内容

- 第1回臨時会
- 議会の新体制スタート……………2～4P
- 議長・副議長就任あいさつ……………3P
- 12月定例会
- 市長の提案説明……………5P
- 委員会の主な審査内容……………6～7P
- 請願の審査結果……………6P
- 平成14年度決算審査……………7P
- 決議・討論……………7P
- 提出議案とその結果……………4・8P
- 市政に対する一般質問……………9～13P
- 委員会活動、傍聴席からひとこと……………14P

第1回臨時会 改選後の議会新体制でスタート



第1回臨時会の議長選挙の様子

改選後の初めての臨時会が1月8日に会期1日で開かれました。
この議会では、正副議長の選挙、各常任委員会委員の選任、議会運営委員会委員の選任、一部事務組合議会議員の選挙、上尾市選挙管理委員・同補充員の選挙などを行いました。
市長提出議案としては、「監査委員の選任について」の1件を審議し、原案のとおり同意しました。

議長に松崎真一議員 副議長に黒須喜好議員 各常任委員会委員など決まる

改選後初議会となる平成16年第1回臨時会が1月8日に行われました。臨時会では、最年長議員の新木辰男議員が臨時議長となり、議長選挙を行いました。その結果第40代議長に松崎真一議員（新政クラブ）が就任しました。
続いて、新議長によって副議長選挙を行い第37代副議長に黒須喜好議員（未来の会）を選出しました。

その後各議員の常任委員会の所属、議会運営委員会、議会報編集委員会の各委員を決定したほか、一部事務組合の上尾、桶川、伊奈衛生組合議会議員の選挙、埼玉県都市競艇組合議会議員の選挙、選挙管理委員及び同補充員の選挙と

市の附属機関などの議会選出委員などの選出を行いました。

最後に、市長から上尾市監査委員の選任についての議案が提出され、原案のとおり同意しました。

議長選挙の結果

松崎真一議員（新政クラブ） 24票

森島岐代子議員（日本共産党） 6票

無効票 2票

※投票総数 32票

副議長選挙の結果

黒須喜好議員（未来の会） 26票

西村テル子議員（日本共産党） 6票

※投票総数 32票

松崎真一議長は昭和18年生まれ

の60歳、市議当選3回。総務常任委員会委員長などを歴任。住所は、大字畔吉1016。

黒須喜好副議長は昭和22年生まれの56歳、市議当選3回。文教経済常任委員会委員長、議会報編集委員会委員長などを歴任。住所は、大字瓦葺1362。

常任委員会

上尾市議会では、議案審査を行うために4つの常任委員会を設けています。

議員は、それぞれ1つの常任委員会に属し、今後2年間は常任委員として所管部門に属する事務についての調査や議案、請願などの審査に当たります。

総務常任委員会（8人）

〈所管事項〉

一般会計の歳入全部、行財政運営、青少年対策、選挙、監査など。
委員長 矢部勝巳（新政クラブ）
副委員長 斉藤隆志（未来の会）
委員 橋北富雄（公明党）
委員 深山 孝（未来の会）
委員 谷澤公彦（市民民主クラブ）

委員 児玉 晋（日本共産党）
委員 遠藤朝子（日本共産党）
委員 松崎真一（新政クラブ）

文教経済常任委員会（8人）

〈所管事項〉

環境対策、ごみ処理、農業、商

議長・副議長 就任あいさつ

市民に開かれた 議会運営を目指して



副議長 黒須 喜好



議長 松崎 真一

私たちは、1月8日の臨時市議会で、議員各位の推挙により、第40代議長、第37代副議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄に存じますとともに、あらためてその責務

の重大さを痛感している次第です。

昨年は、米英軍のイラク攻撃やフセイン大統領の拘束、イランで発生した大地震、異常気象によるコメの不作など、さまざまな事件が起こりました。

また、国内に目を向けますと、景気の低迷に伴い、引き続き、厳しい経済情勢が続いており、なかなか明るい兆しが見えない状況でございます。

このような激動の世の中、市民の皆様にとつて、本当の豊かさを実感できる社会の実現が強く求められてきております。

市議会としても、桶川市からの合併協議(伊奈町を含む)の申し入れに対する合併問題の対応を含め、数多くの課題に対して積極的に取り組んでいく所存です。

同時に、分権時代に対応し、開かれた議会運営を心掛け、可能な限り市民の皆様のご意見を市行政に反映させるべく努力してまいりますので、今後とも引き続き、皆様のご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、就任のあいさつといたします。

業、工業、学校教育、生涯学習、スポーツ振興など。

委員 田中元三郎(未来の会)

副委員長 中村清治(新政クラブ)

委員 道下文男(公明党)

委員 糟谷珠紀(日本共産党)

委員 田中 守(新政クラブ)

委員 秋山かほる(無党派)

委員 新木辰男(新政クラブ)

委員 武藤政春(市市民主クラブ)

建設水道常任委員会(8人)

〈所管事項〉

都市計画、区画整理、公園、開発指導、建築指導、道路、下水道、河川、水道事業など。

委員長 平野佳洋(新政クラブ)

副委員長 野本順一(新政クラブ)

委員 島村 充(無党派)

委員 黒須喜好(未来の会)

委員 佐野昭夫(市市民主クラブ)

委員 森島岐代子(日本共産党)

委員 永吉 勇(公明党)

委員 松木清作(市市民主クラブ)

福祉消防常任委員会(8人)

〈所管事項〉

福祉、国民健康保険、国民年金、交通防災、保健衛生、消防など。

委員長 西村テル子(日本共産党)

副委員長 伊藤美佐子(公明党)

委員 清水義憲(新政クラブ)

委員 島村 穰(新政クラブ)

委員 嶋田幸子(公明党)

委員 島山 稔(市市民主クラブ)

委員 岡野喜一(未来の会)

委員 鍵山節子(日本共産党)

議会運営委員会(9人)

議会運営のため議員間の意見調整を行い、会期、議事日程など議会を円滑に進行させるとともに、議会に関する条例・規則などについて審査に当たります。

委員長 田中 守(新政クラブ)

副委員長 島山 稔

(市市民主クラブ)

委員 平野佳洋(新政クラブ)

委員 斉藤隆志(未来の会)

委員 遠藤朝子(日本共産党)

委員 矢部勝巳(新政クラブ)

委員 伊藤美佐子(公明党)

委員 森島岐代子(日本共産党)

委員 松木清作(市市民主クラブ)

議会報編集委員会(8人)

議会での一般質問や委員会審査の内容、議決結果などについて市民の皆さんに市議会の動きをお知らせする「あげお議会だより」の編集に当たります。

委員長 遠藤朝子(日本共産党)

副委員長 谷澤公彦

(市市民主クラブ)

委員 清水義憲(新政クラブ)

委員 島村 穰(新政クラブ)

委員 深山 孝(未来の会)

委員 島村 充(無党派)

委員 児玉 晋(日本共産党)

委員 嶋田幸子(公明党)

一部事務組合議会議員

地方公共団体の事務の一部を効率よく広域で処理するために、一部事務組合を設けることができます。

上尾市が構成団体となっている一部事務組合は2つあり、その組合議会に一定数の議員が選出されています。

埼玉県都市競艇組合議会議員(17団体、定数32人)
岡野喜一(未来の会)

上尾、桶川、伊奈衛生組合議会議員(3団体、定数15人)

野本順一(新政クラブ)

児玉 晋(日本共産党)

中村清治(新政クラブ)

田中元三郎(未来の会)

伊藤美佐子(公明党)

松木清作(市市民主クラブ)

議会選出の監査委員に 新木辰男議員を選任同意

市監査委員(定数3人)のうち、議会選出の監査委員・田中有由議員(公明党)の退職に伴い、後任として新木辰男議員(新政クラブ)を選任することについて同意を求められ、賛成多数で同意しました。

新木辰男議員は、昭和5年生まれの73歳。市議当選4回、総務常任委員会委員長、決算特別委員会委員長、県都市競艇組合議会議員などを歴任。住所は平方領々家207。

各種附属委員会等議会選出委員名簿 (平成16年1月8日現在)

(議席順)

- 上尾・伊奈広域行政協議会委員……(10人)
島村 穰、深山 孝、谷澤公彦、
島村 充、糟谷珠紀、平野佳洋、
鴨田幸子、遠藤朝子、松崎真一、
黒須喜好
- 上尾市鉄道輸送力増進推進協議会委員
……(5人)
児玉 晋、矢部勝巳、松崎真一、
黒須喜好、武藤政春
- 上尾市都市計画審議会委員……(5人)
島村 穰、谷澤公彦、斉藤隆志、
森島岐代子、永吉 勇
- 上尾市土地開発公社理事……(2人)
田中 守、佐野昭夫
- 上尾市青少年問題協議会委員……(4人)
平野佳洋、田中元三郎、西村テル子、
矢部勝巳
- 上尾市民生委員推薦会委員……(2人)
西村テル子、伊藤美佐子
- 上尾市介護保険事業計画等推進委員会委員
……(2人)
道下文男、遠藤朝子
- 上尾市保育審議会委員……(3人)
糟谷珠紀、田中元三郎、伊藤美佐子
- 上尾市国民健康保険運営協議会委員(6人)
清水義憲、深山 孝、中村清治、
鴨田幸子、西村テル子、松木清作
- 社団法人上尾市医師会上尾医療センター
運営協議会委員……(8人)
島村 穰、谷澤公彦、児玉 晋、
田中元三郎、秋山かほる、矢部勝巳、
伊藤美佐子、鍵山節子
- 上尾市健康づくり推進協議会委員……(1人)
遠藤朝子
- 上尾市環境審議会委員……(3人)
糟谷珠紀、鴨田幸子、矢部勝巳
- 上尾市廃棄物減量等推進審議会委員(2人)
中村清治、田中元三郎
- 上尾市農業後継者育成確保推進協議会委員
……(1人)
田中元三郎
- 上尾市融資審査委員会委員……(2人)
西村テル子、武藤政春
- 上尾市上尾道路対策協議会委員
(平方、大石及び大谷地区在住議員15人)
道下文男、谷澤公彦、児玉 晋、
糟谷珠紀、中村 清治、田中元三郎、
畠山 稔、秋山かほる、矢部勝巳、
松崎真一、新木辰男、伊藤美佐子、
武藤政春、森島岐代子、松木清作
- 上尾市下水道事業審議会委員……(5人)
野本順一、道下文男、平野佳洋、
佐野昭夫、鍵山節子
- 上尾市消防賞じゅつ金等審査委員会委員
……(1人)
西村テル子
- 上尾市上水道委員会委員……(6人)
清水義憲、野本順一、橋北富雄、
深山 孝、遠藤朝子、松木清作
- 上尾市生涯学習推進市民会議委員……(1人)
田中元三郎
- 上尾市スポーツ振興審議会委員……(3人)
中村清治、斉藤隆志、畠山 稔
- 上尾市立小・中学校通学区区域検討協議会
委員……(2人)
中村清治、田中元三郎
- J R上尾駅整備等検討委員会委員……(5人)
橋北富雄、田中 守、畠山 稔、
岡野喜一、森島岐代子
- 高崎線輸送力増進推進協議会委員……(1人)
松崎真一
- 上尾市明るい福祉のまちづくり推進協議会
委員……(1人)
松崎真一
- 上尾市社会福祉協議会理事……(1人)
松崎真一

選挙管理委員に
渡邊 喬氏ら4人を選出

上尾市選挙管理委員と同補充員の任期が、本年2月2日で満了となるため、本臨時会でその選挙が行われ、選挙管理委員と同補充員にそれぞれ次の皆さんが当選されました。

なお任期は平成16年2月3日から平成20年2月2日までです。(敬称略)

○選挙管理委員

- 渡邊 喬 柏座2-8-28
- 河原塚重明 大字小泉309
- 松本 弘道 大字上野22
- 谷川 恵哉 宮本町6-5

○選挙管理委員補充員

- 榎本 求 中分2-196-2
- 安川 良子 大字西門前713
- 黒須 達也 大字瓦葺1295-1
- 日水 正敏 大字今泉255-6

会派の構成は以下のよう

- 32人の議員で構成する市議会では、主義主張を同じくする議員3人以上で、会派を結成することができず。
- 今回、改選されたことに伴い、新政クラブ、日本共産党、未来の会、市民民主クラブ、公明党の5会派が結成されました。
- 各会派の構成は次のとおりです。
- 新政クラブ(9人)
 - 田中 守 清水 義憲
 - 島村 穰 野本 順一
 - 中村 清治 平野 佳洋
 - 矢部 勝巳 松崎 真一
 - 新木 辰男
 - 森島岐代子 児玉 晋
 - 公明党(5人)
 - 永吉 勇 道下 文男
 - 橋北 富雄 鴨田 幸子
 - 伊藤美佐子
 - 島村 充 秋山かほる
 - 市民民主クラブ(5人)
 - 佐野 昭夫 谷澤 公彦
 - 畠山 稔 武藤 政春
 - 黒須 喜好
 - 田中元三郎 斉藤 隆志
 - 岡野 喜一 深山 孝
 - 未来の会(5人)
 - 糟谷 珠紀 遠藤 朝子
 - 西村テル子 鍵山 節子
 - 会派に所属しない議員(2人)
 - 印は会派の代表を示し、代表以外は議席番号順です。

平成16年第1回臨時会提出議案とその結果

○市長提出議案(1件)

○=賛成 X=反対 △=賛成・反対

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	未来	市民	公明	無会派
議案第1号	監査委員の選任について	原案同意	○	○	○	○	○	△

※新政=新政クラブ(9人)、共産=日本共産党(6人)、未来=未来の会(5人)、市民=市民民主クラブ(5人)、公明=公明党上尾市議団(5人)、無会派=会派に所属しない議員(2人)

12月定例会

(仮称)原市複合施設建設に向けた
基本設計業務委託料などを含む
補正予算など35議案を可決・認定



12月定例会採決の様子

12月定例会で審議した議案は、市長提出議案18件、議員提出議案8件の計26件ですべての議案を原案のとおり可決しました。

また、9月定例会で閉会中の継続審査として、決算特別委員会に付託した平成14年度各会計歳入歳出決算認定議案9件は、原案のとおり認定しました。

市長の提案説明から

○上尾市一般会計補正予算

今回の補正については、年度も残り少ないことから、緊急性の高い事業の計上と国・県支出金の確定に伴う関連事業費の整理などを行い、編成したところです。その結果、補正予算額は10億2,621万1,000円となったところです。

歳出の主なものは、総務事業として、(仮称)原市複合施設建設工事に係る基本設計業務委託料を新たに計上したほか、第59回国体開会に伴う整備事業として東口一

番通り整備工事費を増額計上しました。また、選挙費では公職選挙法の一部改正に係る関連経費を計上しました。

福祉事業としては、障害児(者)

生活サポート事業補助金や精神障害者居宅生活支援事業補助金、重度心身障害者医療費などを増額計上したほか、福祉タクシー利用料金助成金や地域交流機能施設ヘルスケアあけぼの利用助成事業費の増額計上をしました。児童福祉関連では、民間保育所の施設整備補助金を新たに計上したほか、乳幼児医療費やひとり親家庭等医療費を増額計上しました。また、生活保護費を増額計上しました。

衛生事業として、健康診査委託料を増額計上しました。

土木事業としては、国庫補助の変更に伴う準用河川上尾中堀川改修工事費の減額のほか、堂平キャンプ場に設置されているバンガローを丸山公園などに移設する工事費を計上しました。また、空地として地域の方々に親しまれてきた東町公園の用地買収費を新たに計上したほか、みどりの基金積立金を計上しました。

教育事業として、児童・生徒就

学援助費や特殊教育就学奨励費、また、準要保護児童生徒給食援助費を増額計上したほか、来年度における中学校での30人学級導入に伴い軽量鉄骨校舎借上料や上平公民館の屋根劣化調査委託料を新た



12月定例会市長の提案説明

○条例その他

上尾市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定については、公職選挙法の一部改正による期日前投票制度の創設に伴い、期日前投票所の投票管理者及び期日前投票所の投票立会人の報酬額を定めたいので提案するものです。

上尾市老人医療費支給条例の一部を改正する条例の制定については、埼玉県老人医療費支給事業補助金交付要綱の一部改正に伴う対象者の変更を行うほか、一部負担金などの支払に係る補足規定を加えたいので提案するものです。

上尾市自然学習館条例及び上尾市バーベキュー場条例の一部を改正する条例の制定については、これらの条例に係る施設の管理を市が指定する団体に行わせるために必要な規定を加えたいので提案するものです。

委員会審査から

総務、文教経済、建設水道、福祉消防の各常任委員会は、付託された議案などを審査しました。以下、審査の過程で取り上げられた質疑の中から主なものについてお知らせします。

福祉消防常任委員会

老人医療費支給条例を一部改正

○上尾市老人医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について
この制度は68歳、69歳の方を対象に通称マル老制度と言われ医療費の一部を埼玉県が補助金として市に助成し実施してきた事業です。県は平成15年4月に補助金交付要綱を改正し平成16年1月から対象となる年齢の引き上げを行うことになり、その制度改正に伴う一部改正。

委員 この支給条例は昭和46年にでき既に30年続けられてきた全国に先駆けた事業だ。9月議会でこの制度の存続を求める意見書を賛成多数で採択している。上尾市が本当に市民の健康を守り安心、安全を与える地方自治体の本旨に照らし今だからこそ独自の施策を守っていくべきで再考を求めたい。
答 この制度は、昭和46年から

県と市が互いに半額を負担して実施していくことで始まった。いろいろ検討したが県の助成制度がなくなる中、周辺市町村の状況や市の財政負担など総合的に見て判断した。ご理解いただきたい。

補正予算 こどもの家の施設整備に補助

〈予算メモ〉 平成16年4月開園予定の(仮称)社会福祉法人桜樹会、白ばら学園こどもの家の施設整備費として1,411万円を計上。
委員 12月1日現在の市内の待機児童は138人、保留児は205人とのことだが白ばら学園の概要は。
答 敷地面積8033平方メートル、建物の面積は595・17平方メートルで定員は60名である。0歳については生後3カ月からで3名、1歳が7名、2歳が6名、3歳が14名、4歳以上が30名である。



こどもの家 (小敷谷地内)

文教経済常任委員会

補正予算 上尾中学校の仮設校舎を予算化



仮設校舎が必要な上尾中学校

〈予算メモ〉 平成16年度から中学校1年生に30人程度学級を導入するため、上尾中学校において今後3年間を考慮すると4教室の不足が見込まれることから仮設校舎を借り上げるもので55万円を計上。施設概要は軽量鉄骨づくり2階建て、普通教室4教室、トイレ、給食用昇降機、渡り廊下など。
委員 上尾中学校は老朽化しているが現段階で改築計画はあるのか。
答 改築計画については、現在富士見小、中央小、上尾中と3校が改築の候補であるが計画的には今のところ具体的になっていない。
委員 外壁も内もかなり古くなっているので早い段階でこの改築計画を立て実行していただきたい。

総務常任委員会

補正予算 (仮称)原市複合施設建設へ向けて

〈予算メモ〉 原市保育所、原市支所などからなる(仮称)原市複合施設建設工事基本設計業務委託料として1,450万を計上。
委員 基本設計について具体的に伺いたい。
答 建設場所については、原市十三番耕内地を予定している。施設の概要は、原市保育所、原市支所、その他支援センター、高齢福祉施設や児童が集えるような施設を考えている。建築構造はRC構造で、床面積3,000×3,200平方メートルの2階建て。地質調査については地盤が軟らかいとのことである。支持地盤の確認をするものである。

補正予算 市長選挙から 期日前投票を実施

〈予算メモ〉 公職選挙法の一部改正による期日前投票制度の創設に伴う報酬の補正36万6,000円を計上。
委員 期日前投票制度と、これまでの不在者投票との相違点は。
答 現在の不在者投票は、選挙人が投票用紙を内封筒、外封筒に入れ、立会人が署名し、不在者投票管理者に提出、その後、投票管

請願の結果

採択された請願

- ▽30人学級を維持し小・中全学年での実施を求める請願
上尾市本町一丁目1番5号 遠山ビル215 代表者 新日本婦人の会上尾支部 増田 悦子氏
- ▽家庭保育室の継続的経営と、利用する保護者の経済的負担が公立保育所と同程度になるよう支援していただくための請願
上尾市大字平塚2444番地263 市毛 久美子氏

不採択となった請願

- ▽「68歳、69歳対象の医療費助成制度」の存続を市独自の助成で行うことを求める請願
上尾市瓦葺2432番地27 代表者 上尾生活と健康を守る会 猪狩 良一氏
- 上尾市上尾下674番地2 代表者 上尾社会保障をよくする会 阿部 岩夫氏
- 上尾市小泉377番地64 代表者 医療生協さいたま上尾市自治体委員会 岩本 孝子氏 外331人
- 上尾市本町四丁目1番31 代表者 上尾民主商工会 加藤 幸雄氏
- 上尾市本町一丁目1番5号 遠山ビル215 代表者 新日本婦人の会上尾支部 増田 悦子氏
- ▽子どもの医療費に関する請願
上尾市本町一丁目1番5号 遠山ビル215 代表者 新日本婦人の会上尾支部 増田 悦子氏

理者が開封して、投票箱へ投函する流れになっている。これが、期日前投票では、投票日当日の投票と同様、選挙人が直接、投票箱に投函でき選挙人にとって投票しやすくまた事務作業が軽減される。

建設水道常任委員会

バンガローを丸山公園などに設置

補正予算

〈予算メモ〉 堂平キャンプ場の廃止に伴いバンガロー7棟を丸山公園のバーベキュー場ほか2カ所に設置するため1,000万円を計上。

委員 どのように活用していくのか。また管理はどうするのか。

答 丸山公園のバーベキュー場にバンガロー4棟を置く予定になっているが宿泊施設とは考えていない。一般の家庭用バーベキュー

セットを持ち込む方に貸していく考えである。料金については無料。管理については、現在シルバ1人材センターに委託している。残りの3棟は、平塚市内のサッカー場に2棟と平方地内の南地区の埋立地に新設している野球場に1棟を置く予定になっている。



丸山公園のバーベキュー場

反対討論

要旨

平成14年度決算の認定に反対する。

小泉内閣の悪政は、中小企業の経営を直撃、日本経済に深刻なダメージをもたらしている。この5年間の自殺者は年間3万人を超え、その8割以上が経済不況の中での自殺だと言われている。こういう時代だからこそ地方自治体は市民の健康・福祉・安全を守るべきである。

歳入については、臨時財政対策債で補っている訳で地方交付税の減少分を前面に出して財政の厳しさを強調するのは適切でない。

歳出については、憲法違反の自衛隊募集事務を上尾市が協力するのは反対である。ひとり親家庭等入学・卒業祝い金は平成14年度から1万5,000円が1万円に削られた。元に戻すことを要望する。不況の中で暮らしを応援する施策として生活保護は欠くことができない。真に自立できるまで必要な

人が受給できるようにすべきである。学校教育について安心、安全のまちづくりのためにも教育予算を思い切つて増やすことを要求する。緑を守るため補正予算ではなく、当初予算として緑の1%基金の積み立てをすることを要望する。

上尾市の水道料金は、県内41市中2番目に高く、水道会計は毎年3億7,000万円前後の赤字となっている。水道料金の値下げを強く求める。

老人医療費支給条例の一部を改正する条例の制定に反対する。

32年の長きにわたって68歳、69歳の医療費助成を行ってきたのは高齢になって病気がかかるとなるとなった時に、軽いうちに治療をする効果があったことは明白であり、この制度がなくなると受診抑制が進むことは必至だ。



永吉 勇議員が 藍綬褒章 を受章

永吉 勇議員（公明党）が平成15年11月3日、多年にわたる地方自治の育成発展に貢献し特に功績が顕著であるとして、藍綬褒章を受章しました。永吉 勇議員は昭和17年生まれの61歳。昭和51年に市議当選以来現在8期目、厚生常任委員会委員長、市議会副議長、都市問題等調査特別委員会委員長、市監査委員などを歴任。

「アジア行政視察団」のバンコクにおける逸脱行為の県議に辞職を求める決議

埼玉県議会の産業・防災アジア行政視察団の一行6人が、視察先のタイ、バンコクで「買春」を疑われるような行為をした問題に関して、徹底調査と責任の追及を求める。

報道されているように、公務として派遣されている行政視察先で明らかに風俗店と思われる場所で女性を指名し、「買春」疑惑を強く抱かせる行為があったことは重大な問題である。埼玉県議会は、関係議員から事実関係を詳しく調査し、埼玉県議会の「議員政治倫理規程」に基づいて辞職を含む、厳しい対処をするよう求めるものである。

アジア女性に対する日本人の「買春」問題は、国際的にも批判を受けており、重大な国際問題となっている時に、埼玉県民の代表である県議会議員の視察の場でこうした事態が生じたとすれば、女性の人格を尊重し、女性の社会的・法的な地位を高めることを旨とする「埼玉県男女共同参画推進条例」の趣旨から見ても重大な問題である。また、国内でも少女買春などの問題が社会問題となっており、性の商品化の問題に対して社会的自己規律が求められていることから看過できない。

よって埼玉県議会においては、下記の点について埼玉県議会議員政治倫理規程に基づき対処されるよう求める。

記

- 1 事件の徹底した真相究明と関係議員の責任を明らかにすること。
- 2 疑惑をもたれた議員は、自主的判断に基づき直ちに辞職すること。
- 3 現下の厳しい財政事情も考慮し、海外視察は当面中止すること。

以上、決議する。

平成15年12月25日 上尾市議会

決算審査

平成14年度決算 議案9件を認定

平成15年9月定例会で閉会中の継続審査事項として決算特別委員会に付託した平成14年度一般会計、特別会計（7件）、水道事業会計の各決算認定議案9件は、9月25日から10月2日までの延べ4日間にわたり慎重に審査を行いました。

審査方針として次の3項目を決定いたしました。

- 1 予算執行の適合性。予算は目的どおり適切に執行されたか。その行政効果はどうか。
 - 2 予算に対する収入・支出の妥当性。歳入予算に対する収入・支出の主な増減及び収入未済額の理由のほか、歳出予算に対する主な不用額の理由。
 - 3 次年度以降の改善点などについて、以上の点を中心に審査を行いました。
- その結果、いずれも原案のとおり認定しました。

平成15年12月定例会提出議案とその結果

◎閉会中の継続審査議案（9件）

○=賛成 ×=反対

議案番号	件名	議決結果	未来	新政	共産	連合	公明
議案第62号	平成14年度上尾市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	×	○	○
議案第63号	平成14年度上尾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○
議案第64号	平成14年度上尾市工業住宅団地開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○
議案第65号	平成14年度上尾市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○
議案第66号	平成14年度上尾市水洗便所改造資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○
議案第67号	平成14年度上尾市大谷北部第三土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○
議案第68号	平成14年度上尾市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○
議案第69号	平成14年度上尾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○
議案第70号	平成14年度上尾市水道事業会計決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○

◎市長提出議案（18件）

議案番号	件名	議決結果	未来	新政	共産	連合	公明
議案第91号	平成15年度上尾市一般会計補正予算（第5号）	原案可決	○	○	○	○	○
議案第92号	平成15年度上尾市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○
議案第93号	平成15年度上尾市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○
議案第94号	平成15年度上尾市大谷北部第三土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○
議案第95号	平成15年度上尾市老人保健特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○
議案第96号	平成15年度上尾市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○
議案第97号	上尾市防災会議条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第98号	上尾市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第99号	上尾市老人医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	×	○	○
議案第100号	上尾市自然学習館条例及び上尾市パーベキュー場条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第101号	上尾市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第102号	専決処分の承認を求めることについて<平成15年度一般会計補正予算第4号>	原案承認	○	○	○	○	○
議案第103号	町の区域を新たに画することについて<大谷北部第三特定土地区画整理事業地内>	原案可決	○	○	○	○	○
議案第104号	市道路線の認定について<大字戸崎地内>	原案可決	○	○	○	○	○
議案第105号	市道路線の廃止について<大字戸崎地内>	原案可決	○	○	○	○	○
議案第106号	市長、助役及び収入役の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第107号	上尾市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第108号	技能労務職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○

◎議員提出議案（8件）

議案番号	件名	議決結果	未来	新政	共産	連合	公明
議第27号議案	戦闘の続くイラクへの自衛隊派遣の慎重な対応と国連中心の平和的な復興支援を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○
議第28号議案	中小企業・商店街対策の推進及び中小企業向け金融対策に関する意見書	原案可決	○	○	○	○	○
議第29号議案	地域における雇用対策の拡充強化を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○
議第30号議案	国から地方への税源移譲に関する意見書	原案可決	○	○	○	○	○
議第31号議案	地方警察官の抜本的な増員を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○
議第32号議案	新たな雇用を創出するための起業・創業環境の早急な整備を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○
議第33号議案	上尾市議会傍聴規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	○	○	○	○	○
議第34号議案	「アジア行政視察団」のバンコクにおける逸脱行為の県議に辞職を求める決議	原案可決	○	○	○	○	○

◎請願（4件）

請願番号	件名	議決結果	未来	新政	共産	連合	公明
請願第39号	「68歳、69歳対象の医療費助成制度」の存続を市独自の助成で行うことを求める請願	不採択	×	×	○	×	×
請願第40号	子どもの医療費に関する請願	不採択	×	×	○	○	×
請願第41号	30人学級を維持し小・中全年齢での実施を求める請願	採 択	○	○	○	○	○
請願第42号	家庭保育室の継続的経営と、利用する保護者の経済的負担が公立保育所と同程度となるよう支援していただくための請願	採 択	○	○	○	○	○

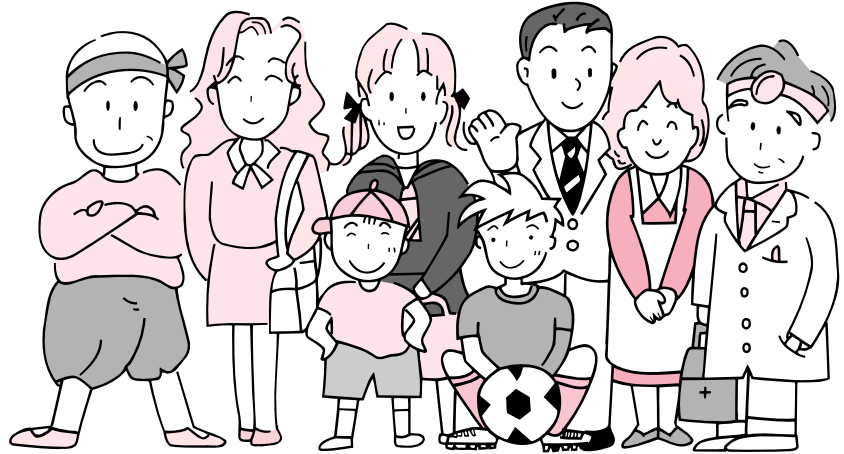
市政に対する 一般質問

ここが問題、 そこが聞きたい

12月定例会の一般質問は、12月18・19・22日の3日間行われ、17人の議員が登壇し、市政全般52項目にわたって市当局の見解を求めました。

また、この3日間で163人の皆さんが議会を傍聴しました。

一般質問の主な内容は次のとおりです。



行財政一般

桶川市からの合併協議の 申し入れに対する考えは

問

上尾市は住民投票の結果を尊重し、さいたま市との合併を行わず、自立都市を目指してまちづくりを進めている。しかしながら上尾市を取り巻く周辺環境は変化しており、今回の桶川市からの合併協議の申し入れに対して、現段階ではどのような考えなのか伺いたい。

答

桶川市、伊奈町とは広域行政上の連携や警察署をはじめとする官公署の管轄区域の一体性のみならず、市民レベルでの交流や歴史的な経緯など、古くから深いつながりを有しているところである。

このような観点とともに、まちづくりや将来都市像を展望した上で、上尾の主体性をもったより自立度の高いまちづくりが可能になる合併協議に応ずることは必要なことではないかと考える。

しかしながら、桶川市が提案した北本市以南の3市1町という枠組みに関しては、北本市は、「これまで想定し得なかった枠組みであり、あくまでも将来的な可能性を含んだ枠組みの一つである。」と

位置づけている状況である。合併協議は市の将来に大きな影響を及ぼす端緒となるものであり、市民の声を代表する議会と手を携えて歩を進めることが肝要であると考ええる。

安定した事業執行のため 債務負担行為などの運用を

問

行政は法律や通達などによって、従来の慣習にとらわれた取り組みをされているものが多い。特に事業執行に当たっては、単年度事業予算方式がとられていることから、年度末に駆け込み事業が集中している実態もある。

このような中で、安定した事業を執行するために、債務負担行為や繰越明許費などの方法を適宜運用すべきと考えるが、見解を伺いたい。加えて行財政3カ年実施計画についても見直すべきと考える



11月1日オープンした上尾伊奈斎場つつじ苑

12月
定例会の

一般質問

質問順に掲載（本文の記事は順不同）

田中 元三郎

・教育問題

・たばこの禁煙

・市長の政治姿勢

岡田 武雄

・農業委員会

・埋蔵文化財

・上尾蓮田線・さいたま菖蒲線

原市沼川

・障害者支援

武藤 政春

・平成16年度予算編成と行財政運営

・上尾市としての諸制度への対応

遠藤 朝子

・小児救急医療体制の整備を

・早急に

・原市保育所の建て替えにあたって

鍵山 節子

・景気回復の一環としての住宅リフォーム制度の創設を

・西宮下中妻線の開通にあたっては引き続き住民との話し合いと合意を

・JR高崎線上尾駅の郵便局前踏み切りの拡幅で歩行者も自転車も安心して渡れるように

・上尾駅方向への渋滞の原因

が今後の取り組みについて伺いたい。

答

今まで大規模な施設建設に当たっては、本庁舎建設時に庁舎建設基金の積み立てを行ったほか、西貝塚環境センターや上尾伊奈斎場つつじ苑においては2カ年にわたり建設事業を行ったところである。

厳しい財政状況が続く中、安定した事業を執行するためには、今後も債務負担行為などの方法も必要と考えている。また、多額の費用が見込まれるものについては、基金制度の活用も検討したいと考えている。

行財政3カ年実施計画については、事業の緊急性や事業効果を勘案し、投資可能財源との整合性を踏まえ、総合的に判断し、事業選択に努めているところである。

調整手当の見直しを

問

国、地方の行財政を取り巻く環境は極めて厳しく、地方公共団体においても、徹底した行財政改革の取り組みが必要である。特に地方財政に大きなウェイトを占めている地方公務員の給与の中で、調整手当の支給率について見ると国の支給率を上回っている団体や、国で支給地とされていないのに支給されているところ

については、早急に是正する必要があると指摘されている。本市においては支給地とされていないが、1割の支給となつている。早急に見直しをしてほしいと3月議会で質問をしたが、その後どのような検討をされたのか伺いたい。

答

厳しい経済情勢の中、本年の人事院勧告も昨年引き続き引き下げ勧告となり、本市においても引き下げの給与改定を行うべく本議会に条例案を提出した。この提案に当たっては職員団体と協議する中で、調整手当の支給率見直しについても検討を重ねたが、協議が調わず、平成16年3月議会に改正案の提出に向けて、職員団体と引き続き協議を重ねていくことになったところである。

永住外国人に地方参政権を

問

永住外国人に対する地方参政権については、大半の地方自治体で付与を求める決議が採択されているにもかかわらず、国レベルで審議が進まないのが実態である。本市においても平成6年12月の議会でも、定住外国人の地方参政権の確立に関する意見書を採択してきた。

そこで、日本に永住している外国人は約64万人と言われているが、市内に登録されている外国人の世



国際交流を深める「あげおワールドフェア」

答

本市における12月1日現在の在住外国人は817世帯、1,940人で、国別では中国籍の人が485人、韓国・朝鮮籍の人が354人、ブラジル籍の人が294人の順に多く、48カ国の人が在住している。

永住外国人に対する参政権の付与については、議会で意見書を採択したことは十分認識しているが、諸説が多く、非常に困難な問題であり、今後国・県及び他市の対応を見守りながら対処すべきと考えている。

市幹部職員によるセクハラ問題に対する今後の対応は

問

市幹部職員によるセクハラ問題は、女性労働者の働

く権利の侵害と女性の人権侵害行為として許すことのできない問題である。そこで、9月議会以降、調停の申し立てや被害者本人の証言など事件の内容は把握できていると思うが、今後の対応について伺いたい。

答

セクハラ問題については、9月5日に調停の申し立てがされた。問題の解決を図るべく市セクシユアルハラスメントの防止に関する要綱の規定に基づく苦情処理委員会を設置し、現在まで4回の会議を持ち対応してきた。

今回の問題を調査し、解決するには、委員会そのものの公平性や透明性の確保が必要であり、有識者である第三者を委員に加えることが必要との認識で、弁護士2人を委員に委嘱する方向で調整を行っている。委員会の調査、審議に当たっては、状況を勘案しながら、効果的かつ柔軟に対応していきたいと考えている。

市職員数の削減の考えは

問

私はこのたびの選挙で市職員を4年間で200人の減員をすべきと市民に訴えてきた。職員の仕事量はIT化やOA化を進めている中で減っているのではないかと考える。もっと大胆に市政をスリム化すべきと思うが、考

となつている郵便局前入口の「でっぱり」を取り除く道路の改良を

伊藤 美佐子

・学童保育の現状と今後のあり方

・インフルエンザの予防

・行財政

・土日開庁

・水道料金

・大石学童公設公営化

黒須 喜好

・道路整備

・選挙、投票所の見直し

調整手当

西村 テル子

・68歳、69歳の老人医療費助成制度の継続をもとめる

・国民健康保険税の減免制度の拡充を

ぐるっとくんの増便と運行地域の拡大

森島 岐代子

・学童保育所の公設公営化は住民の合意のもとに

・松山新道、平方ゴルフガーデン角に信号機の設置を

・市は、サイサンガス問題で住民の不安をとりのぞく努力を

熊谷 昇

・上尾伊奈斎場つつじ苑の現状

・永住外国人に地方参政権を

えを伺いたい。

答

市職員数については、地域振興公社などへの派遣職員を含め、8年間で111人の削減を行ったところである。この間人口は20万7,000人余りから現在22万人を超え、着実な伸びを示している。また、介護保険制度の新設、各種制度改正、地方分権による権限委譲に伴う事務量の増加など、行政需要はますます増え続けている。このような状況の中で職員の理解を得て、市民サービスの向上を図りながらこれだけの削減を行ったことは高い評価に値するのではないかと考える。

また、平成16年度に予定している定員適正化計画の見直しに当たっては、これまでの定員管理の実績や今後の行政需要の動向を踏まえ、国の定員モデル、類似団体の職員数の状況などを勘案しながら策定していかなければならないと考えている。

都市整備

県道上尾蓮田線及びさいたま菖蒲線の早期整備を

問

県道上尾蓮田線においては、現在上尾村地域の途中までの整備が行われている。付近では開発による宅地化が進み、ま

た平成16年4月には伊奈町に大学が開校すると聞いており交通量は増し、渋滞が続くものと思われる。

そこで県道上尾蓮田線の早期開通に合わせた整備をどのように行うのか。また、渋滞の激しい県道さいたま菖蒲線と交差する平塚交差点の整備についても伺いたい。

答

県道上尾蓮田線については、都市計画の観点から市街地の活性化を推進していくためにも、学生や、教職員が上尾駅を利用し駅周辺の商業圏に誘導する方策も視野に入れ、交通渋滞解消に向けた都市計画道路の事業決定の要望と併せ、県道の整備を県に積極的に働きかけていきたいと考えている。また、平塚交差点については、慢性的な渋滞が生じており、県としても整備の必要性は十分認識しているものの、用地費、補償費が多額になることもあり、地権者などの協力体制が得られれ



県道上尾蓮田線平塚交差点

ば、重点化を図る個所として要望していくと聞いている。市としても地元地権者の同意を取りまとめるなど、本交差点の交通渋滞の解消に向け、引き続き県に働きかけていきたい。

緑の保全対策と

市民緑地制度の内容は

問

本市における緑の保全対策、及び市民緑地制度の内容と市民への周知方法について伺いたい。

答

市では、自然環境の保全を図るため、自然環境保全と緑化推進に関する条例を昭和48年に制定し、保存樹木、保存樹林、特別緑地を指定し、緑の保全に努めているところである。さらに土地緑地保全法の改正により、みどりの基本計画制度などが緑の保全に関してより活用できるようになった。

市民緑地制度は、都市計画区域内の300平方メートル以上の一団となった生産緑地などの権利が設定されていない土地で、所有者との合意を前提として地方公共団体が一定の期間その土地を管理し、市民に開放する制度である。土地所有者の恩典としては、固定資産税及び都市計画税を非課税扱いとし、相続などにおける評価は一定の条件の範囲内で2割の評価減と



ふれあいの森（今泉地内）

するものである。本市においても現在市民緑地要領の整備を進めており、制度の活用に向けては広報などで知らせるとともに、現行で緑地協定を締結している土地所有者に説明し、周知していきたいと考えている。

上尾郵便局前道路の改良を

問

上尾郵便局入口の植樹帯の突出のため駅方面へ直進する2車線が機能せず渋滞の原因となっている。市ではこの植樹帯の突出部分をとるようになったことだが、いつごろになるか伺いたい。

答

上尾郵便局前の道路は、現在踏切の遮断機が閉まっているときに、西宮下方面から上尾駅方面に向かう車が4、5台停

田中 守

- ・「魅力あるまちづくり」と市町村合併
- ・市内授産施設製品の常設販売所の設置とそれに関わる障害者の雇用

島山 稔

- ・鴨川水害防止
- ・青少年の健全育成
- ・北上尾駅エスカレーター設置
- ・学童保育

本田 哲夫

- ・上尾市文化都市宣言
- ・都市施設建設に対する発想の転換
- ・上尾市経営方針
- ・合併問題

糟谷 珠紀

- ・公的責任で待機児童の解消を

岩田 真智

- ・通学路の安全確保
- ・緑の保全と市民緑地制度
- ・住宅開発と公園の増設

- ・県道上尾蓮田線平塚交差点からイコス上尾までの歩道の整備促進をすること
- ・イラクへの自衛隊派兵について市長の見解を求める

大出 武司

- ・第一種市街地再開発事業(中山道東側地区)
- ・セクハラ問題
- ・上尾駅改修問題



改良が望まれる上尾郵便局前道路

車していると後続の駅方面に向かう車が直進できない状況で渋滞の原因となっている。

渋滞の根本的な原因は、踏切が駅に近いことから、遮断時間が長いことにあると考えられる。また、郵便局入り口の植樹帯の突出も車両の通行動線を妨げ、もう一つの原因となっている。この植樹帯の突出部分を取り除くことにより、車両の動線が確保され、スムーズに車が通行でき、渋滞解消になると考えられることから、郵便局との協議が調い次第、渋滞解消に向けて実施していきたいと考えている。

水道料金の値下げの検討は

問 県内41市の水道料金の比較と、値下げの検討について市の見解を伺いたい。

答

県内41市の平均水道料金は2,424円、上尾市の場合2,982円となっている。しかし水道料金については、それぞれの自治体によって水道事業の創設年度、配水管の敷設の延長、社会資本整備、資産の保有状況、人口増の動向などの諸条件をもとに設定していることから格差があり、一般の公共料金と同じように単純に比較するのは非常に難しいところである。

水道事業の経営については独立採算性となっており、経営に必要な費用については、すべて水道料金による収益によって賄うこととなっている。市の現行の経営内容をみると、借入金を行わずに早く減少し、大きな建設事業などを終了することが、料金の値下げに一番早い課題と考えており、今後さらに一層の経営改善に取り組んでいきたい。

鴨川の水害防止に向けての今後の取り組みは

問

これまで鴨川については流域及び周辺住民が、河川の環境保全はもちろんのこと、水害解消に向け、河川断面を確保するために河川の阻害要因となる雑草やたい積物の除去などの定期的な実施を北本県土整備事務所に強く要望してきた。これらが現在ど

のように進められているのか、また今後の取り組みについて伺いたい。

答

鴨川は県により、平成14年度に焼橋から上流160メートルについて約1メートルの河床を掘り下げるしゅんせつや、平成15年9月には揺木橋からずむき橋までの草刈り、また特に土砂のたい積が多かつたずむき橋下流20メートルについては、しゅんせつが実施された。

今後については、今年度補正予算で現況測量を実施するための委託費を確保し、揺木橋から新弁財橋までの区間について縦断測量と横断測量を実施し、たい積物の撤去を計画的に実施したいとの回答を得ている。市としても、水害被害の軽減対策は、適切な河川断面の確保が必要不可欠と考えており、河川管理者である県へ積極的に要望していきたい。

福祉・保健

学童保育所の現状と今後のあり方は

問

上尾市の学童保育所は、34年間公設民営で父母などの手づくりで今に至っている歴史があるものと認識している。そうした中、大石学童の学校敷地内への

移設、公設公営化へ移行との市長の発言は、あまりに唐突であったため、現場に混乱を招いているというのが現状である。そこで、市の学童保育所の現状と今後のあり方について伺いたい。

答

父母会により公設民営でさまざまな困難を乗り越え運営してきた市の学童保育所については、深く敬意を表するところである。

平成15年4月1日現在の学童保育所全体の児童数は990人で、指導員については、各学童保育所の父母会により常勤指導員が2人ずつと、パート指導員が児童数に応じて配置されており、市でも一定の補助を行っている。

また、今後は児童の安全面に配慮して施設の建て替え時において、順次学校の敷地内に移していきたいと考えている。そして大石学童保育所をモデルケースとして実施

した上で、関係者と十分話し合いをして運営状況などについて多方面から検討していきたいと考えている。

学童保育所公設公営化の今後の方向性は

問

学童保育所は、共働き家庭の子供たちの自主的な活動を保障しながら、放課後を安心して生活できる場として、本市においても34年間の歴史の上に立ち学童保育所連絡協議会の粘り強い運動と市の努力によって年々充実されてきた。

そうした中、公設公営化に移行するのであれば、当然十分な話し合いと合意が何よりも大切であると考える。そこで学童保育所の公設公営化に対する今後の方向性について伺いたい。

答

市制45周年を契機に次代の上尾市を担う子供たちが心豊かに成長できるよう、少子化社会における子育て支援の一環として放課後児童の健全育成に対して責任を持って取り組んでいきたいと考え学童保育所の公設公営化について提案した。その結果は児童にも保護者にも喜ばれるものでなければならぬと思っている。今後においても、保護者をはじめ関係者の理解が必要であり、市としても初めての取り組みであるこ



学童保育所（大石南）で過ごす子どもたち

とから、モデルケースとしての実施と評価が必要ではないかと考えている。したがって、実施に当たっては、関係者と十分話し合いをもつて進めていきたい。

家庭保育室での乳児死亡事故に対する再発防止策は

問 去る10月16日、市内の家庭保育室で生後3カ月の乳児が死亡するという悲しい事故が起こった。

市はこの問題を極めて重大な事故と受け止め、二度とこのような痛ましい事故が起こらないよう、どのような対策、改善策を立てたのか伺いたい。

答 市では今回の事故をあってはならないことと真摯に受け止め、再発防止の徹底を図るため、市内15カ所の家庭保育室に抜き打ちで訪問し、施設を確認するとともに、くれぐれも園児から目を離さないよう、重ねて再発防止対策の徹底をお願いしたところである。今後市としては今回のことを教訓として、市認可外保育施設指導監督基準の順守を徹底し、さらに認可外の細部についても指導監督し実施していきたい。また、市の関係職員全体研修や家庭保育室職員研修会を継続しながら、再発防止を喚起していきたいと考えている。

小児救急医療体制の整備を早急に

問 子育て支援の中で、子どもの救急医療体制は大きな課題である。子どもの病気は、急変しやすいため、一刻も早く救急体制を整え、子育ての安心を保障すべきと思われる。

そこで、9月議会の答弁で関係機関と協議中ということであった医師会との協議内容や今後の方向性について伺いたい。

答 医師会に対し既存の休日診療所における運営体制をモデルとした医師会会員相互による小児救急医療体制の可能性を示唆したところ、既存の休日診療所の延長とする新たな休日・夜間診療所体制が提案されてきた。この案によると夜間診療部については、



休日診療所（緑丘地内）

供用面積の狭小などにより、新たな施設を市によって設置することや、運営についても、医師の診療行為以外の全業務を市が行うことが条件となっている。

これらの整備案などと市としての考え方を比較検討、調整を図るとともに先進地事例及び県をはじめとした鴻巣保健所など関係機関の指導を仰ぎながら本市の医療現状を十分踏まえて継続性のある万全な小児救急医療体制の早期実現に向けて鋭意取り組んでいるところである。

国民健康保険税の減免制度の拡充を

問 高齢化やリストラ、倒産、失業、若者の就職難などにより国民健康保険に加入する人が増大している。しかし、今国保税が高すぎて払えないという声をよく聞く。そこで、この現状から国民皆保険制度をどう守っていくのか、今後の方向性について伺いたい。

答 市国民健康保険条例においてには保険税の減免をすることができ人の範囲を、貧困により生活のため公費の扶助を受ける時。当該年度において所得が皆無、また著しく減じた人。天災、その他これに類する災害を受けた時としている。そこで国保税の減

免については、個々の被保険者の具体的な事情に基づき税負担の公平さを十分考慮しながら担税力が著しく喪失している場合に行うこととしている。この減免制度については、広報紙による周知のほか被保険者全体にもお知らせをし、誠意をもって対応しているところである。

また、将来にわたって高齢社会に耐え得る公平な国民皆保険体制の堅持を図るために、健康づくり事業の推進など医療費抑制や国保財政安定化支援事業の継続、拡大など国保事業運営の負担軽減につながる効果的な財政支援の強化を図りたい。



国保年金課での受付風景

次世代育成支援計画に伴う調査内容及び市民への対応は

問 今、市が進めようとしている次世代育成支援地域行動計画に伴う調査のねらいと、計

画策定に当たった市民への対応や予算措置について伺いたい。

答 次世代育成支援地域行動計画に伴うニーズ調査は、平成16年度中の行動計画策定に当たり、利用者の意向及び生活実態を把握し、またサービスの量的、質的ニーズを把握するために実施するものである。調査対象は就学前児童保護者、小学校児童保護者、中高生本人、19歳以上の市民を予定している。

また行動計画策定に当たっては、議会、教育、福祉、企業など関係団体及び一般公募による市民の参加を得た策定委員会を設置し、サービス利用者の意見を広く反映させていく必要があると考えている。そして広報やホームページへの掲載などにより市民に周知を図るとともに意見を聴取しながら、その後の対策の実施や計画の見直しに反映させていきたいと考えている。予算措置については、平成17年度より行動計画に伴う取り組みが始まることとなり、計画の中で緊急度の高いものから推進できるよう鋭意努力をしていきたい。

☆声の議会だより

視覚障害の人に対し、カセットテープ版の市議会だよりを発行しています。希望される人は、議会事務局までご連絡ください。

⇒議会事務局 (☎775-9467)

傍聴席からひとこと



なかにし せいこ
中西聖子さん
(愛宕)

市議会の傍聴に初めて来ました。議員が市民の要望を取り入れた質問をされており、とても参考になりましたが、執行部は、もう少し明確な答弁をすべきと感じました。

また、先日の市議選などの投票率の低さをみると、市民が市政に対してもっと関心を持ってほしいと思います。これからの上尾の活気あるまちづくりを、特に若い人たちに期待しています。

議会にはよく足を運んでいます。今日は学童保育の問題に関心があって来ました。議員さんのいろいろな声を聞けるのはうれしいことです。一般質問では準備された質問と答えではなく、再質問や再々質問の時にもっと具体的なものを引き出していただけるとよいなと思います。

学童保育の問題は、子育ての問題を真正面から考えることだと思いますので、子育て環境全体の中で検討してほしいと思います。議会はさまざまな課題について聞けるので視野が広がります。



かねこ みほ
金子美穂さん
(緑丘)



△ 福祉消防常任委員会の審査の様子

委員会活動

H15.10.16→H16.1.15



▷ 総務常任委員会の審査の様子

委員会名	月・日	案 件
総務常任委員会	12・16	● 12月定例会提出議案7件を審査
文教経済常任委員会	12・17	● 12月定例会提出議案1件、請願1件を審査
建設水道常任委員会	12・16	● 12月定例会提出議案7件を審査
福祉消防常任委員会	12・17 12・22	● 12月定例会提出議案6件、請願3件を審査 ● 12月定例会提出議案1件、請願1件を審査
議会運営委員会		● 議会運営及び議会活性化について協議(協議回数8回)
議会報編集委員会	10・17 12・17 1・8	● 「あげお議会だよりNo.122」の内容について協議 ● 「あげお議会だよりNo.123」の内容について協議 ● 「あげお議会だよりNo.124」の内容について協議

意見書6件を原案可決

12月定例会開会日の15日に1件、最終日の25日に5件の意見書を議員提出議案として提出し、すべてを可決しました。可決した意見書の件名と提出先は次のとおりです。

◆戦闘の続くイラクへの自衛隊派遣の慎重な対応と国連中心の平和的な復興支援を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣、外務大臣、防衛庁長官、衆議院議長、参議院議長

◆中小企業・商店街対策の推進及び中小企業向け金融対策に関する意見書

提出先⇒内閣総理大臣、財務大臣、経済産業大臣、衆議院議長、参議院議長

◆地域における雇用対策の拡充強化を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

◆国から地方への税源移譲に関する意見書

提出先⇒内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、衆議院議長、参議院議長

◆地方警察官の抜本的な増員を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣、国家公安委員長、衆議院議長、参議院議長

◆新たな雇用を創出するための起業・創業環境の早急な整備を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、衆議院議長、参議院議長

編集後記

市民の皆さんの審判を受け、心新たに2004年を迎えました。

平和で子育ても老後も安心のまちにという多くの声を市政に届け、希望ある年にするためにがんばります。

12月議会では、残念ながら老人医療費助成制度が後退しました。議会ではどんな論議がされているのか、多くの市民の皆さんに伝え、議会に注目していただく窓口として議会報が役割を果たせればと思います。

新人の多い議会報編集委員会です。豊かで新鮮な発想で取り組む決意です。よろしく願いいたします。(遠藤)

～議会報編集委員～

遠藤 朝子、谷澤 公彦、清水 義憲、
島村 穰、深山 孝、島村 充、
児玉 晋、鴨田 幸子

* 次回の3月定例会は、3月1日に開会の予定です。

傍聴など詳しくは、議会事務局(☎775-9467)へお問い合わせください。

●上尾市議会ホームページアドレス

<http://www.gikai.ageo.saitama.jp>